
Redmine3.3.0 新機能のご紹介

株式会社 **Ankoso**ft

2016年6月24日

目次

Redmine3.3.0 新機能.....	2
概要.....	3
1. ロール別にトラッカー別の権限の設定機能 (#285)	5
2. チケットの追加時に、選択可能なトラッカーをロールごとに指定可能 (#7839)	5
3. チケットの注記に削除ボタンを追加 (#1725)	6
4. チケットのフィルタに、「チケット」が追加 (#4806)	7
5. 「新しいWiki ページ」が追加 (#5536)	8
6. チケット一覧画面からウォッチャーを一括追加 (#5754)	9
7. 「新規オブジェクト作成タブ」でオプション選択が可能 (#6204)	10
8. 「+」ボタンの追加 (#15880)	11
9. チケットの履歴で予定工数に単位が追加 (#12456)	12
10. ステータスやトラッカーのソートをマウスドラッグで可能 (#12909)	13
11. チケットのステータスを変更しても「前」「次」リンクを表示 (#14462)	14
12. 「自分自身による変更の通知は不要」をデフォルトでオンにする (#14574)	15
13. プログラム言語別にハイライト表示機能 (#14937)	16
14. Redmine で画像ファイルをプレビュー機能 (#22058)	17
15. フィルタの追加で「関連するチケット」を「関係」に変更 (#22147)	18
16. インポートでトラッカーとステータスをマッピングする機能 (#22951)	19
株式会社 Ankosoft のご紹介.....	20
「ANKO ALM」のご紹介.....	21

注意

本書は Redmine の情報を提供する目的で作成されております。本書の作成にあたり、正確な記述に努めましたが、本書に対して何らかの保証をするものではなく、本書の内容を元に運用に影響がでる場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

本書の内容は 2016 年 6 月 24 日現在のものであり、内容は事前予告なく変更される場合があります。

Redmine3.3.0 新機能

Redmine3.3.0 新機能のご紹介

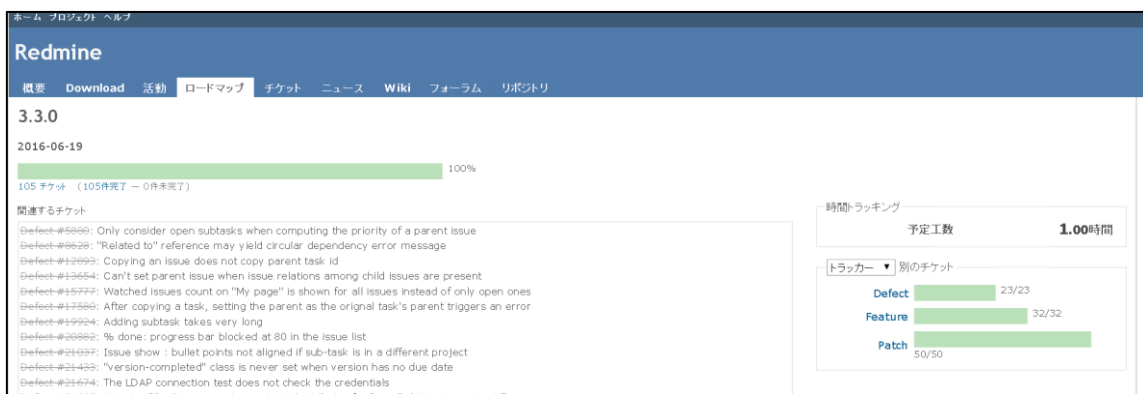
概要

Redmine の公式ホームページである「<http://www.redmine.org/>」の「ロードマップ」で Redmine の各バージョン別の機能を調べることができます。

2016年6月19日にリリースされた「Redmine3.3.0」バージョンでは全部で105箇所の変更がありました。

本書では代表的な16項目に対して説明いたします。

＜「Redmine 3.3.0」バージョンの新機能一覧画面＞



URL: <http://www.redmine.org/versions/110>

変更された項目の内訳は下記の表の通りです。

区分	変更数
バグ対応	23
新機能	32
パッチ	50
合計	105

Redmine3.3.0 新機能のご紹介

機能別の変更された項目の内訳は下記の表の通りです。

翻訳を除くと、UI と Issues が高い比率で改善されたことが分かります。

機能名	バグ対応	新機能	パッチ	総計	比率
UI	5	5	14	24	23%
Translations	2		19	21	20%
Issues	5	3	1	9	9%
REST API	1	4	2	7	7%
Code cleanup/refactoring	3		3	6	6%
Attachments		2	2	4	4%
Email receiving	1	2		3	3%
I18n	1	1	1	3	3%
Issues filter	1	1	1	3	3%
Accounts / authentication		2		2	2%
Email notifications			2	2	2%
Performance	1		1	2	2%
Roadmap	1		1	2	2%
SCM		2		2	2%
Security		2		2	2%
Wiki		2		2	2%
Custom fields			1	1	1%
Gantt			1	1	1%
Hook requests			1	1	1%
Importers		1		1	1%
Issues permissions		1		1	1%
Issues workflow		1		1	1%
LDAP	1			1	1%
My page	1			1	1%
Ruby support		1		1	1%
Third-party libraries		1		1	1%
Time tracking		1		1	1%
総計	23	32	50	105	100%

1. ロール別にトラッカー別の権限の設定機能 (#285)

Tracker role-based permissioning

「管理」->「ロールと権限」->「ロール」で「権限」項目の下に以前のバージョン※1にはなかった、「チケットトラッキング」項目が追加されました。トラッカー別に「チケットの閲覧」、「チケットの追加」、「チケットの編集」、「注記の追加」、「チケットの削除」の設定が可能になりました。デフォルトでは「すべてのトラッカー」にチェックが入っています。特定のトラッカーに権限を指定したい場合は、「すべてのトラッカー」のチェックをオフにします。

※1：本書で使用する「以前のバージョン」は「Redmine 3.2.0. stable」バージョンを意味します。

<3.3.0 バージョン画面>

Wiki

<input checked="" type="checkbox"/> Wikiの閲覧	<input checked="" type="checkbox"/> Wiki履歴の閲覧
<input checked="" type="checkbox"/> Wikiページを他の形式にエクスポート	<input checked="" type="checkbox"/> Wikiページの編集
<input checked="" type="checkbox"/> Wikiページ名の変更	<input checked="" type="checkbox"/> Wikiページの削除
<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイルの削除	<input checked="" type="checkbox"/> Wikiページの凍結
<input checked="" type="checkbox"/> Wikiの管理	

[すべてにチェックをつける](#) | [すべてのチェックを外す](#)

チケットトラッキング

トラッカー	チケットの閲覧	チケットの追加	チケットの編集	注記の追加	チケットの削除
すべてのトラッカー	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
バグ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
機能	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サポート	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. チケットの追加時に、選択可能なトラッカーをロールごとに指定可能 (#7839)

Limit trackers for new issue to certain roles

上記の機能と関連して、チケットの追加時に、選択可能なトラッカーをロールごとに指定可能になりました。「管理」->「ロールと権限」->「ロール」で「権限」項目の「チケットトラッキング」項目で「チケットの追加」の設定が可能です。

特定のトラッカーに権限を指定すると、該当ロールでは指定されたトラッカーのみ新規チケット作成時に選択が可能になります。

3. チケットの注記に削除ボタンを追加 (#1725)

Delete button on comments

以前のバージョンでは、チケットに注記を登録すると、注記の編集は可能でしたが、削除はできませんでした。3.3.0バージョンからゴミ箱アイコン(🗑️)をクリックすることにより、注記の削除が可能になりました。

<以前のバージョン画面>



<3.3.0バージョン画面>



4. チケットのフィルタに、「チケット」が追加 (#4806)

Filter the issue list by issue ids

チケットのフィルタに「チケット」という項目が追加されました。これにより特定のチケット番号での検索が可能になります。

<3.3.0バージョン画面>

The screenshot shows the Redmine 3.3.0 interface for the 'チケット' (Issues) section. The top navigation bar includes '概要', '活動', 'チケット', 'ガントチャート', 'カレンダー', 'ニュース', '文書', 'Wiki', 'ファイル', and '設定'. The main header shows 'チケット' and a '+ 新しいチケット' button. Below the header, there is a filter section with a red box around it. The filter section includes a 'フィルタ' dropdown, a checked 'チケット' checkbox, a '次の範囲内' dropdown, and input fields for '1' and '10'. To the right, there is a 'フィルタ追加' dropdown menu with a red box around the 'チケット' option. The main content area shows a table of issues with columns for '#', 'トラッカー', 'ステータス', '優先度', '題名', and '担当者'. The first issue is '# 1', 'バグ', '新規', '通常', 'ankosoft', and '20...'. Below the table, there are buttons for '適用', 'クリア', and '保存', and a '(1-1/1)' indicator.

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者
1	バグ	新規	通常	ankosoft	20...

5. 「新しいWiki ページ」が追加 (#5536)

Simplify Wiki Page creation ("Add Page" link)

以前のバージョンでは新しいWiki ページを生成するためには「Wiki」ページの編集をクリックして、ページを生成しましたが、3.3.0バージョンから、「新しいWiki ページ」という項目が追加され、それをクリックすることにより、簡単に新しいページを作成することが可能になりました。

<3.3.0バージョン画面>



<以前のバージョン画面>

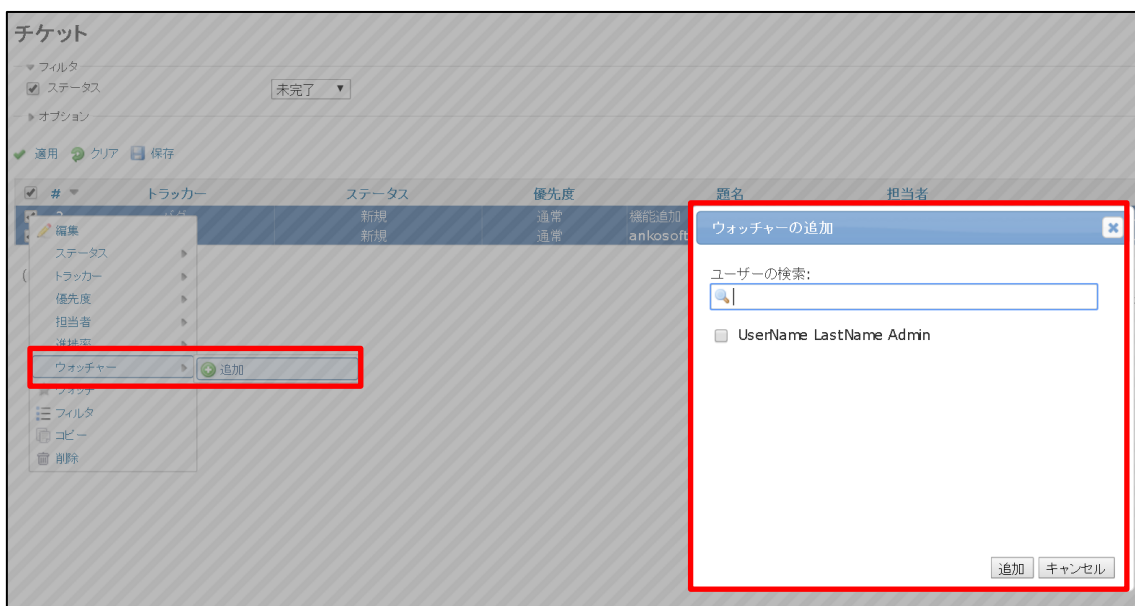


6. チケット一覧画面からウォッチャーを一括追加 (#5754)

Allow addition of watchers via bulk edit context menu

チケット一覧画面でチェックボックスをオンにして、チケットを選択後、マウス右ボタンをクリックして表示されるコンテキストメニューに「ウォッチャー」項目が追加され、任意のユーザーをウォッチャーとして追加できるようになりました。以前のバージョンでは「ウォッチ」という項目しかなく、ログインしているユーザーだけをウォッチャーとして登録できました。

<3.3.0バージョン画面>



<以前のバージョン画面>



7. 「新規オブジェクト作成タブ」でオプション選択が可能(#6204)

Make the "New issue" menu item optional

「管理」→「設定」→「表示」に「新規オブジェクト作成タブ」項目が追加されました。デフォルト値は「+」ドロップダウンを表示」で、下図のように「+」をクリックして「新しいチケット」をクリックすることによってチケットを新規登録することができます。もしくは「チケット」タブの画面右側の「新しいチケット」をクリックすることによってもチケットの新規登録が可能です。既存の「新しいチケット」タブは表示されません。



Redmine3.3.0 新機能のご紹介

「新規オブジェクト作成タブ」で「なし」を選択すると「新しいチケット」タブも「+」ボタンも表示されず、「チケット」タブの画面右側の「新しいチケット」をクリックすることによってチケットの新規登録が可能です。



「新規オブジェクト作成タブ」で「新しいチケット」タブを表示を選択すると既存のバージョンと同様に「新しいチケット」タブが表示されます。その際にも、「チケット」タブの画面右側の「新しいチケット」をクリックすることによってもチケットの新規登録が可能です。



8. 「+」ボタンの追加 (#15880)

Consistent, global button/menu to add new content

「管理」→「設定」→「表示」に「新規オブジェクト作成タブ」項目で「+」ドロップダウンを表示を選択すると、「新しいチケット」、「新しいカテゴリ」、「新しいバージョン」、「ニュースを追加」、「新しい文書」、「新しいWiki ページ」、「新しいファイル」を追加できる「+」ボタンが表示されます。「+」ボタンから各々の項目の作成が可能になります。

<3.3.0 バージョン画面>



9. チケットの履歴で予定工数に単位が追加 (#12456)

Add units in history for estimated time

以前のバージョンではチケットの履歴で予定工数に単位が表示されませんでした。3.3.0バージョンからは「時間」という単位が追加されました。

<以前のバージョン画面>

<3.3.0バージョン画面>

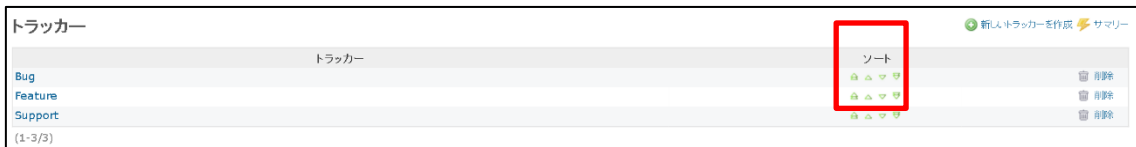
The image shows two side-by-side screenshots of the Redmine ticket history page. The left screenshot is labeled '<以前のバージョン画面>' (Older version screen) and the right is '<3.3.0バージョン画面>' (3.3.0 version screen). Both show a ticket history for 'Bug #36' and 'Bug #2'. In the 3.3.0 version, the history entries include '予定工数を 5.00 時間にセット' (Set estimated time to 5.00 hours), which is highlighted with a red box. A red arrow points from this box to the corresponding entry in the older version, which lacks the unit '時間'. To the right of the 3.3.0 screenshot, there is a list of changes with the same text: '予定工数を 5.00 時間にセット'.

10. ステータスやトラッカーのソートをマウドラッグで可能 (#12909)

Drag'n'drop order configuration for statuses, trackers, roles...

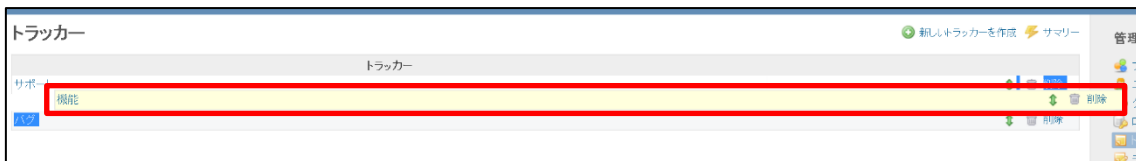
以前のバージョンではステータスやトラッカーのソートを上下ボタンをクリックすることによって行ったため、項目が増えるとソート設定をするのにかなりの手間がかかりました。

<以前のバージョン画面>



3.3.0バージョンからはソート項目がなくなり、代わりに[↑]アイコン部分でマウス左ボタンをクリックするとドラッグでき、任意の場所にドロップすることができます。これにより、簡単にソートを変更することができます。

<3.3.0バージョン画面>



11. チケットのステータスを変更しても「前」「次」リンクを表示 (#14462)

Previous/next links may be lost after editing the issue

以前のバージョンでは、チケットのステータスを「終了したチケット」に変更すると、「前」「次」リンクが表示されなくなりました。3.3.0バージョンからはこれを表示するようになりました。

<以前のバージョン画面>

概要 活動 チケット 新しいチケット ガントチャート カレンダー ニュース 文書 Wiki ファイル 設定

✓ 更新しました。

Bug #36 編集 時間を記録 ☆ ウォッチをやめる コピー 削除

機能追加
UserName LastName Admin が約2時間前に追加、1分以内前に更新。

ステータス:	Closed	開始日:	2016/06/27
優先度:	Normal	期日:	
担当者:	-	進捗率:	0%
		予定工数:	10.00時間

<3.3.0バージョン画面>

概要 活動 チケット 新しいチケット ガントチャート カレンダー ニュース 文書 Wiki ファイル 設定

✓ 更新しました。

バグ #2 編集 時間を記録 ☆ ウォッチをやめる コピー 削除

機能追加
UserName LastName Admin が約2時間前に追加、1分以内前に更新。

ステータス:	終了	開始日:	2016/06/27
優先度:	通常	期日:	2016/06/29
担当者:	-	進捗率:	0%
		予定工数:	10.50時間

◀ 前 | 1/2 | 次 ▶

12. 「自分自身による変更の通知は不要」をデフォルトでオンにする(#14574)

I don't want to be notified of changes that I make myself as Default for all User

「管理」->「ユーザー」->「新しいユーザー」をクリック時、以前のバージョンでは「自分自身による変更の通知は不要」のデフォルト値がオフでしたが、3.3.0バージョンからはオンになりました。

<以前のバージョン画面>

ユーザー » 新しいユーザー

情報	メール通知
ログインID *	ウォッチまたは関係している事柄のみ
名前 *	<input type="checkbox"/> 自分自身による変更の通知は不要
苗字 *	


<3.3.0バージョン画面>

ユーザー » 新しいユーザー

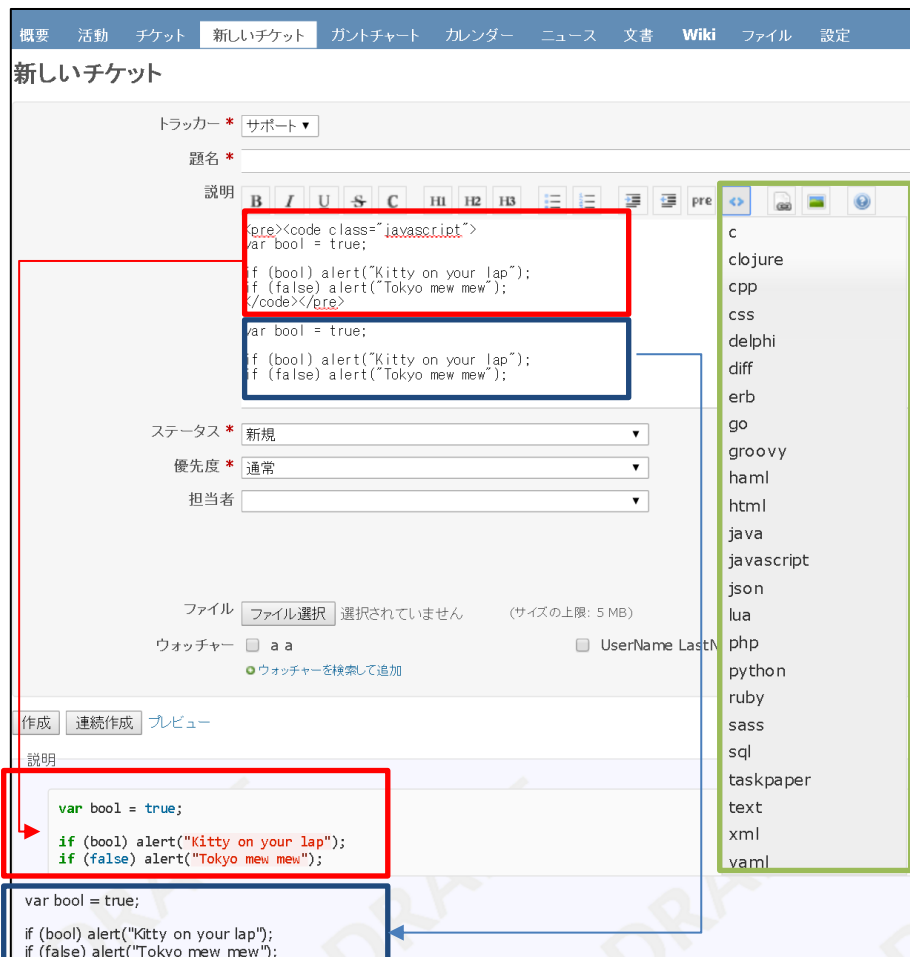
情報	メール通知
ログインID *	ウォッチまたは関係している事柄のみ
名 *	<input checked="" type="checkbox"/> 自分自身による変更の通知は不要
姓 *	

13. プログラム言語別にハイライト表示機能(#14937)

Code highlighting toolbar button

エディターで下図のように  をクリックするとプログラム言語を選べるメニューが表示されます。任意の言語を選択するとエディターに該当プログラム言語をハイライト表示させるタグが挿入され、そのタグ内で該当プログラムソースを記述するとハイライト表示をします。


下図で赤枠と青枠には同じプログラムソースが記述されていますが、赤枠はハイライト表示させるタグ内に記述したため、該当プログラムソースがハイライト表示されていますが、青枠はハイライト表示させるタグ内に記述していないため、ハイライト表示されていません。



The screenshot shows the Redmine ticket editor interface. At the top, there are navigation tabs: 概要, 活動, チケット, 新しいチケット, ガントチャート, カレンダー, ニュース, 文書, Wiki, ファイル, 設定. Below the tabs, there's a form for creating a new ticket. The 'Tracker' is set to 'サポート'. The 'Subject' is empty. The 'Description' field contains two code snippets. The first snippet is wrapped in a `<code class='javascript'>` tag and is highlighted in red. The second snippet is not wrapped in a tag and is highlighted in blue. To the right of the editor, a dropdown menu is open, showing a list of programming languages: c, clojure, cpp, css, delphi, diff, erb, go, groovy, haml, html, java, javascript, json, lua, php, python, ruby, sass, sql, taskpaper, text, xml, vaml. Below the description field, there are buttons for '作成', '連続作成', and 'プレビュー'. At the bottom, there's a 'Watcher' section with a search box and a 'Watcherを検索して追加' button.



14. Redmine で画像ファイルをプレビュー機能 (#22058)

Show image attachments and repo entries instead of downloading them

以前のバージョンでは、添付されたテキストファイルは  アイコンをクリックすることにより、Redmine でプレビューすることができましたが、画像ファイルはプレビューすることができませんでした。3.3.0バージョンからは画像ファイルもプレビューすることができます。

<以前のバージョン画面>

<3.3.0バージョン画面>

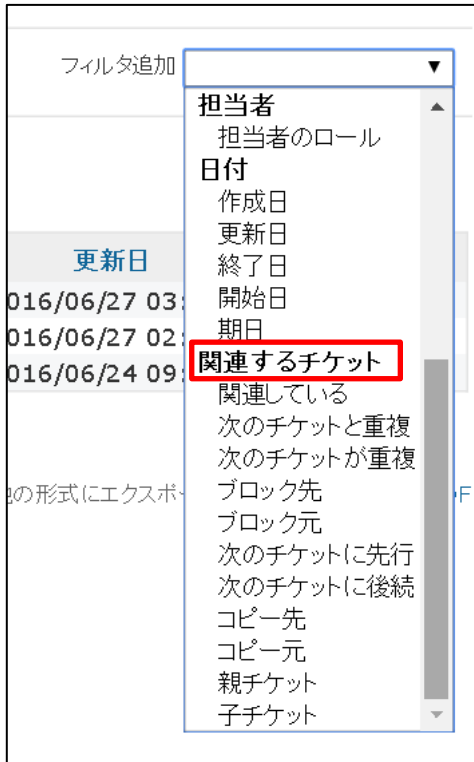
<以前のバージョン画面>	<3.3.0バージョン画面>
<p>添付ファイル</p> <p>UserName LastName Admin が1分前に追加. 1分以内に更新.</p> <p>ステータス: New</p> <p>優先度: Normal</p> <p>担当者: -</p> <p>無題.jpg (311 KB)  UserName LastName Admin, 2016/06/27 03:28</p> <p>顧客対応.txt (8.82 KB)  UserName LastName Admin, 2016/06/27 03:29</p>	<p>添付ファイル</p> <p>UserName LastName Admin が5分前に追加. 1分以内に更新.</p> <p>ステータス: 新規</p> <p>優先度: 通常</p> <p>担当者: -</p> <p>無題.jpg (311 KB)  UserName LastName Admin, 2016/06/27 03:25</p> <p>顧客対応.txt (8.82 KB)  UserName LastName Admin, 2016/06/27 03:29</p>

15. フィルタの追加で「関連するチケット」を「関係」に変更 (#22147)

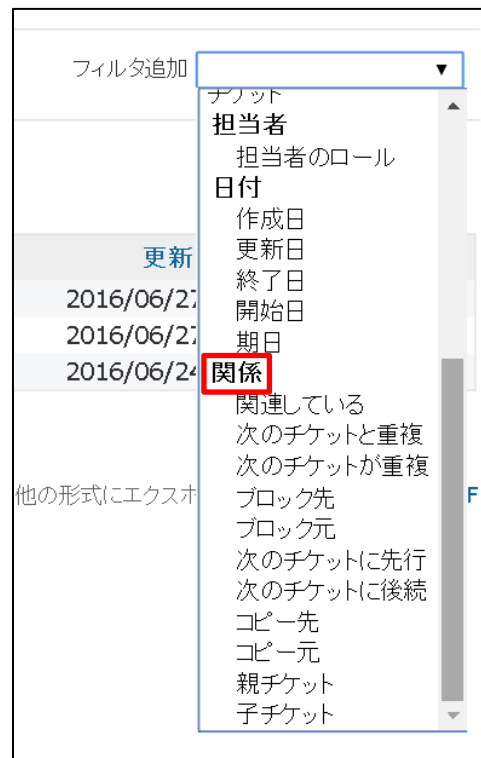
Change "Related issues" label for generic grouped query filters

以前のバージョンではフィルタの追加のドロップダウンリストで「関連するチケット」と表示されましたが、3.3.0バージョンからは「関係」に変更されました。

<以前のバージョン画面>



<3.3.0バージョン画面>



16. インポートでトラッカーとステータスをマッピングする機能(#22951)

Make Tracker and Status map-able for CSV import

インポートで以前のバージョンではトラッカーを CSV の項目名から選択するのではなく、Redmine の値を参照してユーザーが事前に選択する必要がありました。また、ステータスはインポート後に設定をする必要がありました。

<以前のバージョン画面>

チケットのインポート

フィールドの対応関係

プロジェクト a ▼

トラッカー Bug ▼

プライベート ▼

親チケット ▼

開始日 ▼

期日 ▼

進捗率 ▼

題名 -- 選んでください -- ▼

説明 ▼

優先度 ▼

カテゴリ ▼

存在しない値は新規作成

担当者 ▼

対象バージョン ▼

存在しない値は新規作成

3.3.0バージョンからはトラッカーとステータスを CSV の項目名から選択してマッピングすることが可能になりました。

<3.3.0バージョン画面>

チケットのインポート

フィールドの対応関係

プロジェクト ankosoft ▼

トラッカー - 選んでください - ▼

ステータス ▼

プライベート ▼

親子チケット ▼

開始日 ▼

期日 ▼

予定工数 ▼

進捗率 ▼

題名 -- 選んでください -- ▼

説明 ▼

優先度 ▼

カテゴリ ▼

存在しない値は新規作成

担当者 ▼

対象バージョン ▼

存在しない値は新規作成

株式会社 Ankosoft のご紹介

オープンソースソリューション専門企業 ANKOSOFT

Ankosoft はオープンソース開発を基盤にした会社で、プロジェクト管理と品質管理分野で世界的に有名な Redmine, Jenkins, SonarQube 等に対する技術力を保有しております。



オープンソースの不足した部分を開発して、ソリューションとしてパッケージ販売をしております、技術サポート、教育などオープンソースの普及に努めております。

本社 〒210-0015 神奈川県川崎市川崎区南町 22-6 815 号

五反田事務所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-8 中村屋ビル 3F

TEL : 044-223-6484

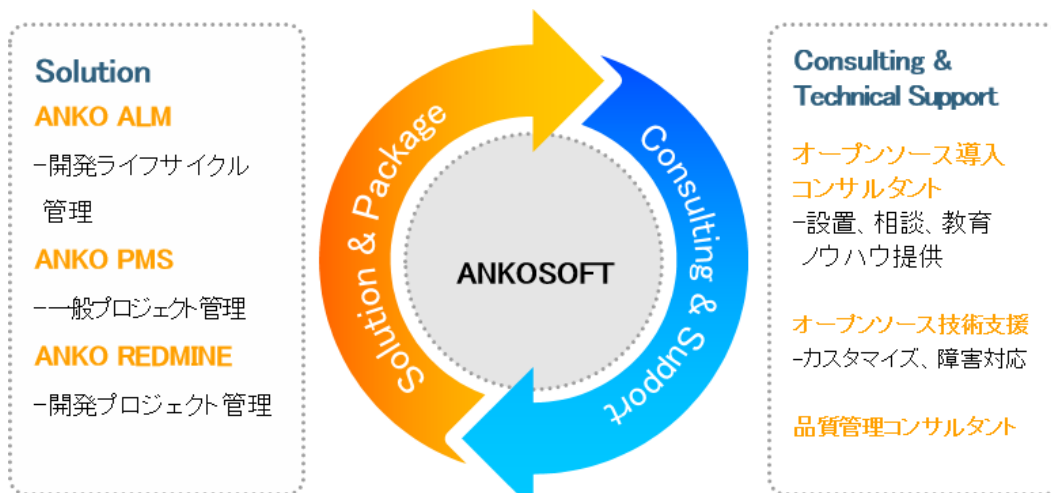
EMAIL : info@ankosoft.co.jp

URL : <http://ankosoft.co.jp/>

デモサイト : <http://demo.ankosoft.co.jp/>

事業領域

Ankosoft の事業領域は、ソリューション開発および販売、オープンソースコンサルタント、技術支援、教育、品質管理コンサルタントなどを主な事業として行っております。



「ANKO ALM」のご紹介

オープンソースのプロジェクト管理システムである「REDMINE」を基盤にして、REDMINE に足りない機能を加えて開発した「ALM」システムです。REDMINE に足りなかった管理機能、利便性、モニタリング機能、ツール間の連動やプラグインのバグなどを改善・開発しました。特に、開発ライフサイクルにおけるツール間の連動は欠かせないものであるため、オープンソース間で連動できるよう開発された製品です。

「ALM」とは、アプリケーションソフトウェアの開発・運用において、全体のライフサイクルを総合的に管理することによって、ソフトウェアの品質や開発生産性、変化への対応力などを向上させるためのもの、もしくはそれらを実現させるためのソフトウェアのプラットフォームツールを指します。

「ANKO ALM」の特長

ツール間の連動

開発、ビルド、テストなど、開発サイクルに必要なツールが互いに連動して自動化されている機能は、開発者に快適な環境を提供し、開発スピードをアップさせます。

ソース品質の見える化

ANKO ALMの使用によって、開発プログラムソースのスケール感だけでなく、テストカバレッジ情報を自動的に分析して、把握することができ、今まで把握が難しかったプログラムの中まで確認できるようになり、より一層堅固で安定した製品開発をサポートします。

オープンソースで構成

ANKO ALMはオープンソースで構成されており、世界中に厚いユーザー層がいて、最新技術を取り入れています。さらに、持続的にアップデートされていて、オープンソース間の互換性も備えています。また、多様なプラグインを提供しているため、必要な機能の追加や開発が可能です。

低費用で構築可能

オープンソースで構成されたANKO ALMはリーズナブルな費用で構築が可能です。商用ソリューションの場合、数千万円の製品が多く、一部機能のみ備えている製品でも数百万円に達するため、導入が簡単ではありません。一方、ANKO ALMは低費用で優れた機能を提供するので、一石二鳥の効果を期待できます。